

令和6年8月14日(水)～9月1日(日)まで、生涯学習センター オープンギャラリーにて、杉戸町平和企画展を開催しました。

今年度は、杉戸町の友好都市である福島県富岡町に関する展示を行い、アニメーション背景画家の男鹿和雄氏が描いた富岡町の風景画には、多くの来場者が心を打たれ、1つ1つの絵に見入っていました。来場者の中には、近隣市町に在住の富岡町から避難された方や、男鹿氏の作品のために県外から来場された方もいらっしゃいました。

また、核被害に関連し、東京都立第五福竜丸展示館に御協力いただき、「世界のヒバクシャ展」も同時開催しました。杉戸白百合幼稚園の子どもたちには、平和についてのメッセージの展示に御協力いただき、子どもたちが一生懸命考えてくれたメッセージは、来場者にとっても好評でした。

※8月31日(土曜日)に予定されていた講演イベントは、台風接近に伴い、残念ながら中止となりました。

杉戸町平和企画展は、様々な視点から戦争の悲惨さや平和の尊さを考える場となるよう、毎年テーマを変えて開催しています。今回は、東日本大震災で地震・津波・原発事故で被害を受けた富岡町に関する展示を行い、復興へ1歩ずつ歩みを進める富岡町を多くの人に知っていただく機会として、また、核によって引き起こされる影響、そして、いかに平和が尊いものなのかを考えていただく機会として企画しました。

主催／杉戸町・杉戸町教育委員会

共催／杉戸町国際交流協会・杉戸町立図書館

後援／学校法人藤田学園 杉戸白百合幼稚園・学校法人昌平学園 昌平中学・高等学校

協力／富岡町・富岡町教育委員会・東京都立第五福竜丸展示館





©Oga Kazuo

富岡への想い ~あの日から未来に向かって~

【オープン展示】 入場無料

期間 令和6年8月14日(水)～9月1日(日) 9:00～21:30

※生涯学習センター開館日のみ

場所 生涯学習センター オープンギャラリー (杉戸町大字大島 477 番地 8)

アニメーション背景画家

内容 男鹿和雄氏が描いた富岡町の風景画等の展示

都立第五福竜丸展示館資料 『世界のヒバクシャ展』

杉戸百合幼稚園の子どもたちによる平和メッセージの展示

※図書館同時企画：町立図書館では上記展示に関連する書籍の特設コーナーを設置



町 HP からも
ご覧いただけます

男鹿和雄氏プロフィール

1952年 秋田県生まれ。1972年からアニメーションの背景美術の仕事に携わり、『ガンバの冒険』『幻魔大戦』など、多くの作品に背景で参加。『はだしのゲン』『妖獣都市』などで美術監督。1988年『となりのトトロ』以降『もののけ姫』『かぐや姫の物語』など、多くのスタジオジブリ作品で美術監督を務める。

吉永小百合さんがライフワークとする原爆朗読詩『第二楽章』に挿絵を担当する。



【イベント】 入場無料

日時 令和6年8月31日(土) 13:00～(開場 12:30)

場所 生涯学習センター 多目的ホール

定員 250名(満席となる場合もございますので、予めご了承ください。)

●講演 「第五福竜丸被災70年、世界の核被害を考える」

講師：東京都立第五福竜丸展示館 学芸員 安田 和也氏

●演奏 杉戸白百合幼稚園による鼓笛隊演奏・ジブリ音楽の合唱



安田 和也 氏
プロフィール

東京都立第五福竜丸展示館学芸員、公益財団第五福竜丸平和協会専務理事。1953年那覇生まれ、東京育ち。

主催：杉戸町・杉戸町教育委員会 共催：杉戸町国際交流協会・杉戸町立図書館

後援：学校法人藤田学園 杉戸白百合幼稚園・学校法人昌平学園 昌平中学・高等学校

協力：富岡町・富岡町教育委員会・東京都立第五福竜丸展示館 お問合せ：杉戸町住民協働課 0480-33-1111

令和6年度 杉戸町平和企画展
平和写真展「富岡への想い ～あの日から未来に向かって～」

来場者アンケート 集計結果

【平和企画展】

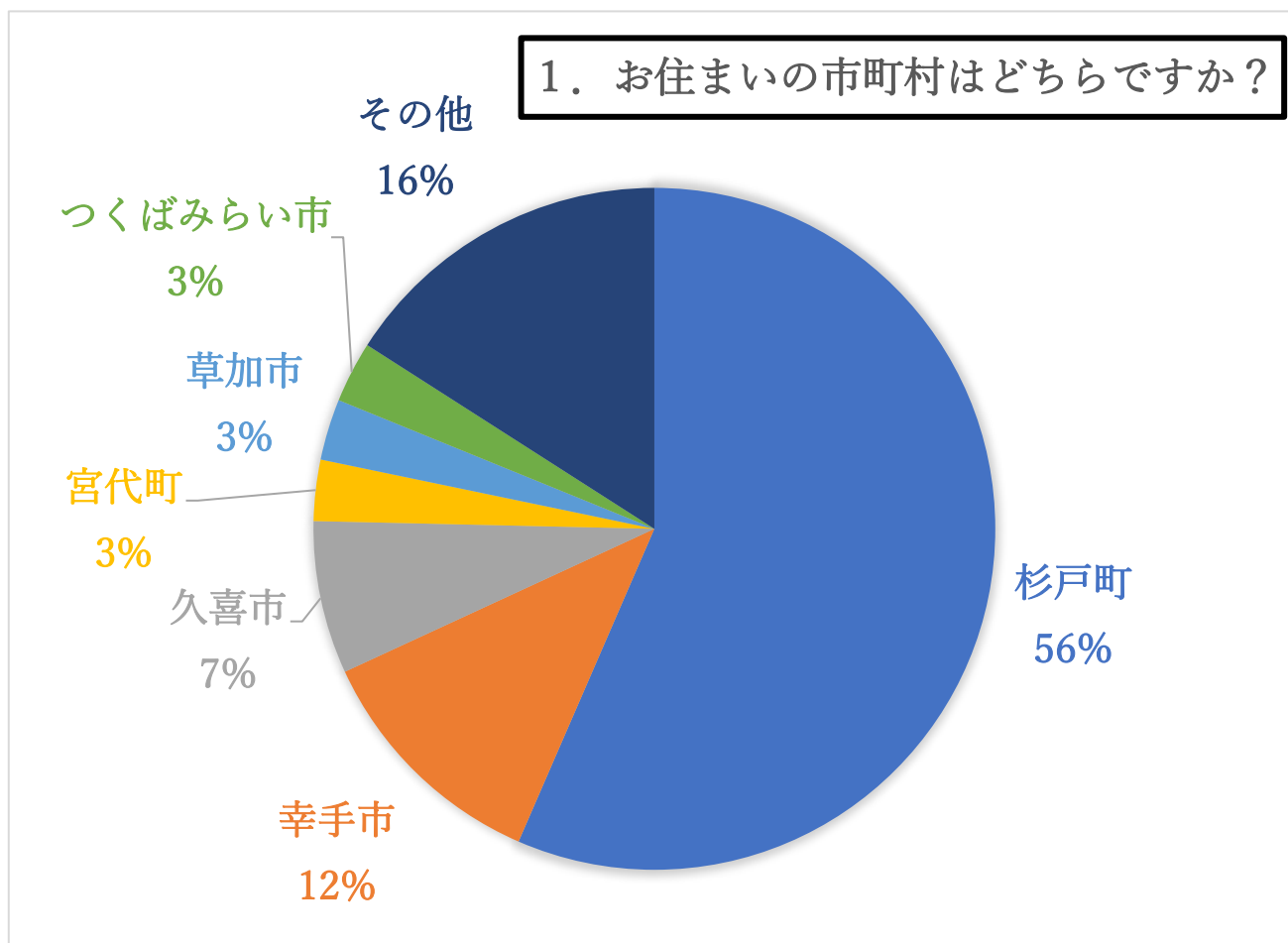
開催期間：令和5年8月14日（水）～ 9月1日（日）

開催場所：生涯学習センター オープンギャラリー

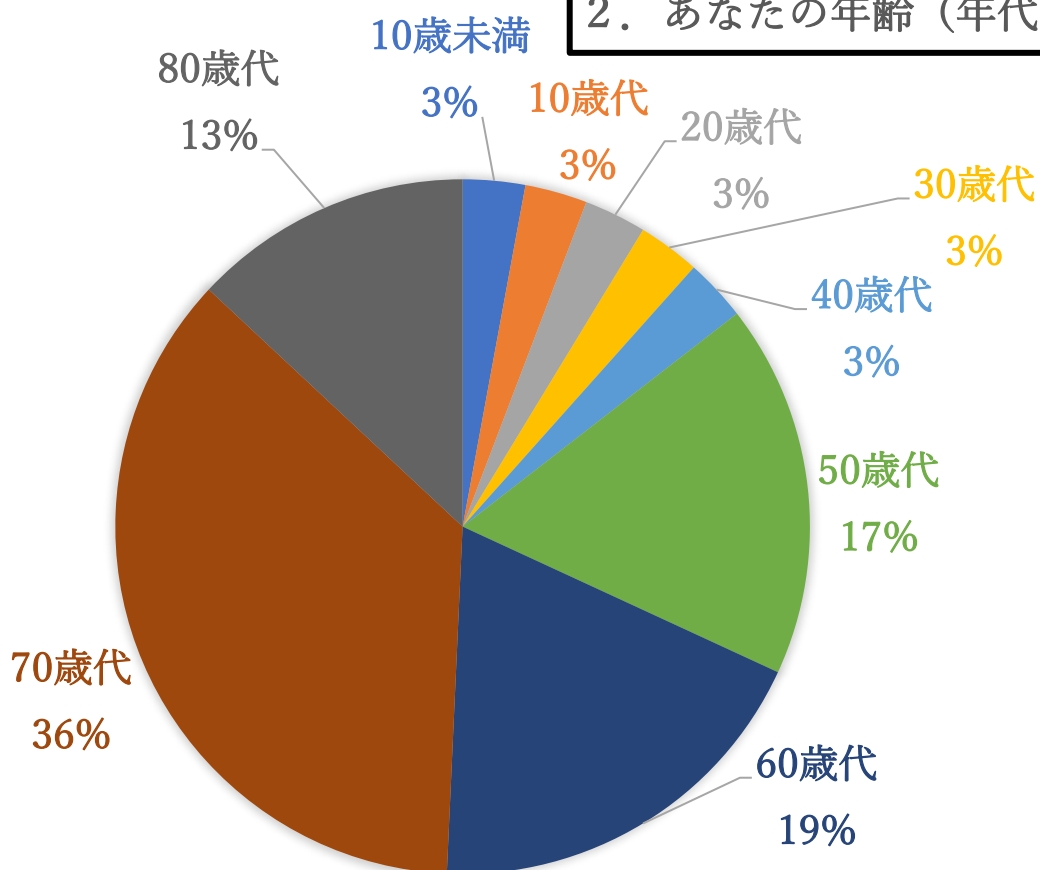
【アンケート】

回収数：69（用紙62枚、オンライン7件）

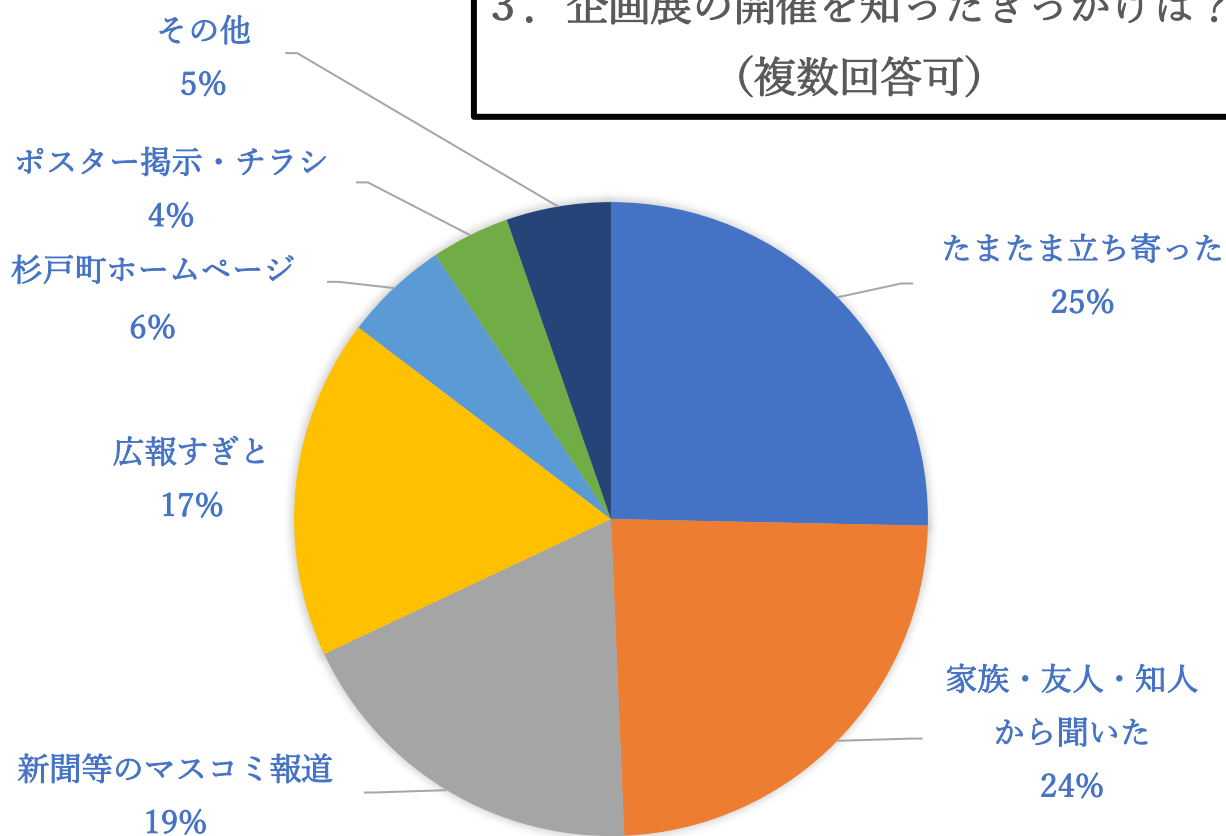
- 質問項目：1. お住まいの市町村はどちらですか？
2. あなたの年齢（年代）は？
3. 企画展の開催を知ったきっかけは何ですか？（複数回答可）
4. 企画・展示の内容はいかがでしたか？
5. 感想、ご意見等自由記述



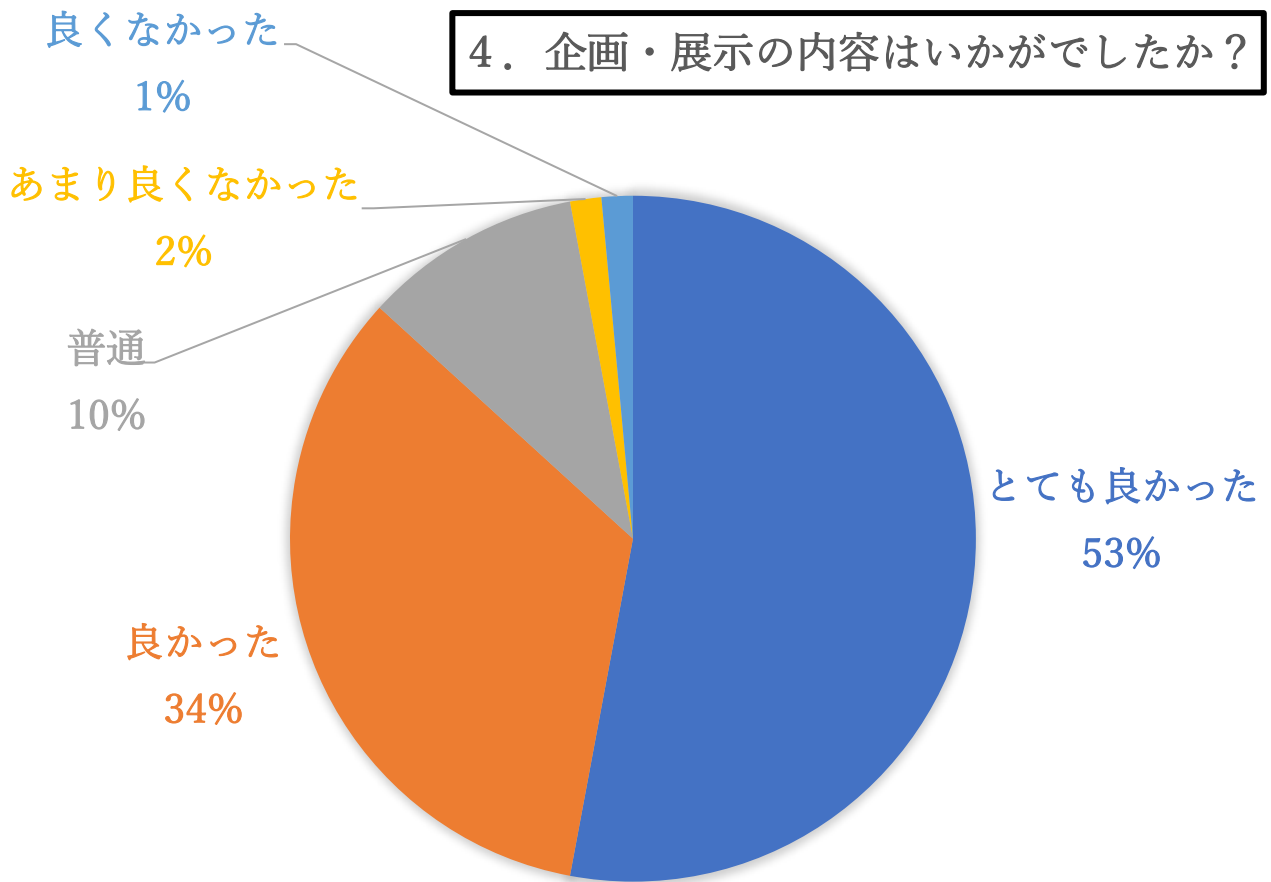
2. あなたの年齢（年代）は？



3. 企画展の開催を知ったきっかけは？
(複数回答可)



4. 企画・展示の内容はいかがでしたか？



【自由記述】（抜粋）

- 悲惨な事故のあと、おだやかな風景には、涙する思いがこみあげる。「こんな筈ではなかった」と後悔のないよう一人一人が平和について常に問い続ける必要があると考えます。
- 核被曝者のそれぞれの証言が心をゆさぶった。直接爆弾によって被害を受けた日本人以外でも、こんなに、色々影響を出しているのには少しおどろかされた。富岡町にはまた機会を見つけて行こうと思います。
- 水彩画と吉永さんの書いた詩が美しく、心をうたれました。子どもたちのひとことがすばらしいです。ありがとうございました。
- こういう企画展を今後も行ってほしいです。特に若い人に知ってほしい。
- 杉戸の我が家も被害がありましたが、富岡の方達は、本当に大変。あのころの事を思い出しました。
- 避難して久喜市にお世話になって13年が過ぎました。故郷に帰りたい思いはありますが、現実には難しいです。私が富岡町の教育委員会にいる時に杉戸町教育委員会の教育長さん、総務課長さんとの交流協定の橋渡しを致しました。ありがとうございました。
- 改めて戦争の悲惨さ、核の恐ろしさ、そして平和の大切さを感じた次第です。
- 素晴らしい企画展を見せていただき感動しました。ありがとうございました。
- 平和の尊さ、核エネルギーの誤った利用、考え直さなければ、今それをやらなければ地球の未来はない。
- もっと多くの方に知っていただきたい（「第二楽章」等）。前町長の、バスを手配し、迎えに行った行動は素晴らしい。富岡町他、震災被害者へもっと何か出来たのではと反省している。これからでも出来ることはしたいと思う。
- 昨日起きた出来事のように感じた。だいぶ人々が富岡に戻ったと思いますが、元気に元の富岡に戻ってほしいです。
- 子供達のメッセージがとても良かった。
- いつまでも忘れてはいけないことと、あらためて思いました。
- 幼稚園の子供達のメッセージが大変良かった。小さな子でも平和というものをしっかりとらえている。
- 福島県富岡町の方々へ、今後も希望を持ってください。
- 男鹿和雄さんが福島の絵を描かれていることを知らなかったのが、企画展で知れてよかった。子どもにも男鹿さんの絵を見てもらうことが出来たことも本当によかったです。ありがとうございました！
- 平和について改めて考えたい。男鹿さんの原画を見られて良かった。男鹿さんの平和への思いを、優しさを感じた。是非また企画してほしい。